

第5回江別市生涯活躍のまち構想有識者会議開催結果（要旨）

日時 平成29年2月7日（火）10時00分～10時40分
場所 江別市民会館 32号室
出席者 澤井秀座長、河西邦人委員、小原克嘉委員、西懸昭子委員、鴻野徹委員、
今田英徳委員、井上智委員、吉川邦俊委員（計8名）
傍聴者 1名

会議概要

1 開会

2 議事

（澤井座長）議事（1）、（2）の2件を、一括して事務局より説明願う。

（1）江別版「生涯活躍のまち」構想（案）にかかるパブリックコメントの結果等について

—資料1 事務局より説明—

- ・ 募集期間は、12月9日～1月17日（40日間）であった。
- ・ 意見提出者は3人、意見の件数は11件であった。
- ・ 意見に対する考え方の区分は、A（意見を受けて案に反映するもの）は0件、B（案と意見の趣旨が同様）は4件、C（案に反映していないが今後の参考等とする）は4件、D（案に反映しない）は0件、E（その他の意見）が3件であった。
- ・ 意見の内容と市の考え方は、資料1のとおり。
- ・ Aに該当すると考えるものがなかったことから、今回の結果、構想案の修正はなく、前回の有識者会議でご説明したものと変更はない。

—資料2 事務局より説明—

- ・ 生涯活躍のまち構想の検討経過については、市議会の総務文教常任委員会に、その都度報告をしてきたところだが、そこでいただいたご意見をまとめたので、報告する。
- ・ 資料2の中で、現時点で検討を要するのは、3つ目の項目「全市的な意識の醸成が図られていない。年度内に構想を策定する必要はないのでは」という意見への対応。
- ・ 事務局としては、市民への説明については、これまで、パブリックコメント（概要版の配付や自治会回覧）、広報への特集記事掲載、11月12日に開催したシンポジウム、自治会など関係団体への説明、市長との対話集会（大麻）など、理解の醸成に努めてきた。
- ・ また、構想策定後も進捗に応じて市民説明会などの機会を設けていくこともしたいと考えている。
- ・ また、この構想の重要な要素である高等養護学校の誘致活動に関しては、1年でも

早く誘致するために、今回の生涯活躍のまち構想を年度が替わったあと迅速に北海道に対してアピールしたいと考えている。

- ・この有識者会議でも当初から年度内の策定スケジュールをご説明し、予定していたとおりに進んできている。
- ・以上のことから、事務局としては、当初の計画どおり、年度内に策定完了したいと考えている。

(2) 江別版「生涯活躍のまち構想」(案)について

—資料3 事務局より説明—

- ・パブリックコメントによる修正がなかったことから、この案が現時点の最終版。
- ・この案で委員からの異論がなければ、有識者会議を踏まえた最終案として、2月16日の市議会の総務文教常任委員会に報告したい。
- ・次回の有識者会議では、市議会への報告経過をお知らせした上で、構想案を確定させたい。

(澤井座長) 事務局より説明のあった議事(1)、(2)の2件について、質疑・意見を欲しい。

(河西委員) パブリックコメントのNo.2にある除雪に関して、資料3にあるアンケート結果では、現在の居住地に住み続けたい理由において、「除雪などの公共サービスが充実しているから」が11.1%となっている。総合計画策定の市民会議でも、除雪が挙がっていた。生涯活躍のまちはアクティブシニアがある一定の地域に住むことになるので、集積の効果として、除雪などのコストを集中することにより効率化が図られる。構想の実現により、除雪から解放される道筋を示せるのではないか。空知管内の関係者と話をすると、コンパクトシティの実現には除雪や見守りといった効果があると考えられる。意見の反映が、Eとなっていることは市の考え方なので、異論はない。除雪の問題を解決する考え方の一つとして、あってもよいのかなと思う。

(事務局) 除雪に関して、構想には記載していない。ご意見のとおり、除雪の負担軽減を期待して生涯活躍のまちに住む方もいると思われる。実際に事業を計画する段階において、除雪の問題を解決していくことになると思う。

(河西委員) 除雪の問題が解決すれば、江別市民にとっても良いことだ。市の考え方や意見の反映状況については、市に任せることとする。構想を推進することで、除雪についても解決される方向性があるなど、前向きなことを示していただけると良い。次に、資料2の2の4番目に、有識者会議に対し、この構想に対して違う意見があることに関して、可能であれば違う意見をこの場でお示しいただきたい。

(事務局) 年度内に構想を策定する必要はないこと、また、高等養護学校の誘致に弾みをつけて、生涯活躍のまち構想も推進していきたいという考えは理解するが、市民の意識が醸成されていないこともあり、高等養護学校と生涯活躍のまち構想を別々に考えてはどうかという意見があった。策定の時期や考え方に違いがあるので、文書や口頭で伝えてほしいという意見と認識している。

(河西委員) 平成 32 年度以降に高等養護学校の誘致実現を目指すためには、早急に対応しなければならないが、市議会議員には説明しているのか。

(事務局) 高等養護学校の設置は、毎年 6 月に道教委より 3 年後の見通しが載った案が示されており、現在目指しているのは今年 6 月に示される配置計画案に平成 32 年度の見通しについて道央圏（札幌盲学校跡地）への設置が、記載されることである。それがあれば、構想に記載のあるスケジュールに沿って進めていきたいということは説明している。

(河西委員) 市議会議員からは、構想案への本質的な部分の異論はなかったのか。

(事務局) 異論はないものと認識している。

(河西委員) 概要版に関して、基本コンセプトや具体例、展開例の中に、アクティブシニアがまちづくりの担い手となることや働いて労働人口減少を補うことの視点が抜けている。1 人の市民として江別のまちを担っていく、ボランティアや仕事をしていくことを、概要版に記載してはどうか。

(事務局) 委員意見のとおり、アクティブシニアにとって良いことは書いてあるが、市にとってどのような波及があるかは書いていない。今後、市民への説明等で概要版を使用する際には、意見を踏まえて説明したいと考えている。

(小原委員) 生涯活躍のまち構想は、地域の発展にとっても、大きな意味を持つものと考えている。今までの流れを見てもきめ細かい内容や深い議論があったと思う。特に高等養護学校の誘致について、受け皿となる施策がしっかりと出来ていることが大切であり、誘致につながると理解している。早くても平成 32 年度以降となるが、高等養護学校の誘致が遅れたり、他の地域に配置されると江別への誘致が難しくなる。内容も充実しており、将来的には全市的なひろがりになるというビジョンを持っている。構想実現は大きな意味があるので、時期を逸せず推進してもらいたい。

(澤井座長) 構想の策定が 1 年弱ということで短いと感じていたが、事務局より複数の案を立ててもらい、最適な案が示された。市議会議員より市民周知について意見があったが、パブリックコメントや市民向けのシンポジウムの開催、また、広報えべつへの掲載や、大麻地区

の自治会回覧をしている等、私としては手続きをしていると認識しており、市民に浸透していると考えられる。高等養護学校の誘致は早急に対応する必要があり、しっかりした構想案がまとまっているので、これを市民全員で後押しする必要があるのではないかと私は考える。委員からは、すみやかに進めていくのが良いとの意見もある。私としては、早く推進したら良いという考えであるが、他の委員から意見はあるか。

(河西委員) 生涯活躍のまちという言葉は、新しいため浸透してないかもしれないが、内容は福祉を中心としたまちづくりである。福祉のまちづくりであれば、認識はあると思われる。澤井座長や小原委員の意見のとおり、構想の内容は問題ないと思う。この後、どのように行動し実現するか。実現した際には目に見えたり、口コミで広がっていくと、理解が深まると考える。

(澤井座長) 他に意見・質問がないか。

(各委員) なし

(澤井座長) (1) の議事について、市議会の総務文教常任委員会の意見については、事務局から説明があり、委員からの意見もあったとおり予定どおりのスケジュールで策定することで、確認したいと思うが、よろしいか。

(各委員) 了

(澤井座長) 次に、(2) の議事については、資料3の案をもって、現時点での最終案とすることでよろしいか。

(各委員) 了

3 その他

(事務局) 次回会議については、第6回有識者会議を2月24日10時と考えているが、よろしいか。

(澤井座長) 事務局から次回開催日について提案があったが、よろしいか。

(各委員) 了

(澤井座長) それでは、次回開催は2月24日10時より開催する。

4 閉会